

令和8年度 第2回 都田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月1日（水） 13時10分から16時00分まで
- 2 開催場所 都田小学校 会議室
- 3 出席委員 影山善久、内山眸、渥美渡、下原直美、田中敏美、山下大道
- 4 欠席委員 袴田恵吏代
- 5 オブザーバー 田力秀太（都田協働センター）
- 6 学 校 佐々木和也（校長）、松本眞弓（教頭）、地福清香（教務主任）、
中村佳世（1年）、浅井愛架（2年）、鈴木隆仁（4年）、
加納史浩（5年）、鈴木孝雅（6年）
杉浦ひとみ（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 磯部志保
- 8 傍 聴 人 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 杉浦ひとみ

10 議長の選出

前回の協議会にて、今回、渥美委員が議長を務めることが承認された。

11 協議事項

（1）「学び合う子」の実現に向けて

ア 都田小学校の校内研修について（研修主任）

イ グループに分かれて熟議

（2）地域への情報発信、地域からの情報収集について

12 会議記録

教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）「学び合う子」の実現に向けて

ア 都田小学校の校内研修について

研修主任の加納から「学びの楽しさや価値に気づき、主体的に学ぶことができる」、「相手の思いや考えを聞き、自身に生かすことができる」の具現を目指して取り組む旨の発表があった。

イ グループに分かれて熟議

【Aグループ：内山会長、山下委員、下原委員

教員：中村佳世、鈴木孝雅、地福清香、松本眞弓】

① 児童の良い表れと課題について

- ・積極的に発言し、意欲的に学ぶ子供が多かった。
- ・グループで互いに学び合い、成長する姿が見られた。

② 教員の良い支援と課題について

- ・担任の表情豊かな姿勢が、子供たちが自分の思いを言うことができる環境、失敗をしても再度チャレンジしていく環境を創り出しているのではないか。

- ・最後まで発言できなかった子供がいたが、担任から指名して発表の機会を与えることも必要なのではないか。
- ・ＩＣＴの活用によって、もっと意欲的に授業に参加することができるのではないか。
- ・ＩＣＴをどこまで活用し、また制限はどの程度したら良いか課題である。
- ・調べ学習では、ＩＣＴの活用により、すぐに答えが出てしまい、粘り強さが失われてしまうのではないか。自分の考えを膨らませるためにはどのように工夫してＩＣＴを活用したらよいか考える必要がある。

【Ｂグループ：渥美委員、太田委員、影山委員、田中委員

教員：鈴木隆仁、浅井愛架、加納史浩、山下裕香】

① 児童の良い表れと課題について

- ・タブレットをよく使いこなしていた。
- ・話し合いや意見を出す場面ではしっかり自分の意見を言っていた。
- ・話す力はあるが、人の話を聞く力は未熟である。
- ・全体的に子供の数が減っている。

② 教員の良い支援と課題について

- ・児童数が少ない為、担任が一人一人に寄り添うことができる。
- ・児童数が少ないからできる支援とは何か考える必要がある。

(2) 地域への情報発信、地域からの情報収集について

【Ａグループ】

- ・ＣＳ（学校運営協議会）の事を保護者の方でも知っている人は少ない。
- ・保護者や地域の方の目に留まるように、地域の回覧で閲覧できるようにする。

【Ｂグループ】

- ・ＣＳ（学校運営協議会）認知度を調査したが、自分の周りは知らない人が多かった。
- ・そもそもＣＳ（学校運営協議会）とは何かを、十分に理解していきたい。
- ・子供たちの中からこんな学校にしたいという意見を出していただくのはどうか。

<合議>

学校運営協議会で協議したものを、実践に移すことが大切。次回に向けて案を挙げていく必要がある。委員で案を出し合いたい。

<都田協働センターの田力さん>

回を増すごとに協議会の雰囲気良くなり、課題解決に向かって話し合いが行われているのが伝わる。協議会での意見を、教師も交えて話し合いができることは都田小学校の良いところである。

<教育委員会の磯部さん>

委員と教員の仲が良く、意見を出しやすい様子が伝わる。話し合いだけでなく、実践までつなげようとするところが素晴らしい。

13 その他連絡事項

- ・次回議長の選出があり、影山委員が推挙され、全員意義なくこれを承認した。
- ・教頭から、第3回学校運営協議会は、令和8年12月16日（水）に開催する旨の連絡があった。